

I 組織の使命

競輪事業部は、当市の財政に貢献することをめざし、函館競輪の開催および他場開催競輪の車券発売を行っています。

競輪事業部のミッション（使命）は、

競輪事業の実施により財政への貢献をめざすとともに、北海道で唯一の競輪場として、自転車競走の振興と発展、さらには産業振興とスポーツ振興に寄与することを目標に、将来にわたって競輪文化の明かりを絶やすことなく灯し続けることです。

競輪事業の売上は長らく減少しておりましたが、近年、特にインターネット投票の普及により増加傾向となっているところであり、こうした投票行動の変化など取り巻く環境が変わっていくなか、施設の老朽化などの課題に対応し、安全・安心な開催運営を行っていくことはもちろんのこと、収益確保に努め当市の財政へ貢献するとともに、地域の財産の一つとして、将来にわたって継続した事業を展開していくよう取り組みます。

II 組織の基本方針

- 全国競輪関係機関との情報共有に努めるとともに、組織内の情報を共有化し、自由闊達な雰囲気の中で、時代の変化をつかみ、自己革新と新たな課題への挑戦（チャレンジ）を続け、失敗を恐れずに効果的・効率的な事業運営に努め安定した経営基盤の確立に向け、組織一体となって全力で取り組みます。
- 競輪事業を将来にわたって引き継いでいくためには、競輪ファンばかりでなく、多くの市民の理解を得ることが不可欠であり、競輪が果たしてきた役割や現状などを知っていただけるよう、これまで以上に広報活動を行うとともに、オリンピック競技にもなっている自転車競技の魅力を伝える努力を続けます。

Ⅲ 年度評価 総評

- 令和7年度の売上については、好調を維持しており、特に函館競輪初のG Iオールスター競輪を開催したことや、インターネットを中心とした函館競輪のPRおよびキャンペーンの強化に加え、他の競輪場等への発売協力依頼等を積極的に推進した結果、当初予算対比で約76億円増の約424億円と、函館競輪史上最高額となる売上となる見込となっております。

さらに開催経費の縮減等に努め収益を確保し、令和6年度(2024年度)に引き続き施設整備基金へ着実に積立てを行うとともに、一般会計へ当初予算を大幅に上回る繰り出しを行うことができる見込であり、その繰出金は各種公共施設の整備や運営に役立てられているところです。

- 令和7年度に開催したG Iオールスター競輪では、多彩なイベントの開催により、3万3千人を超える来場者があったほか、場内での地上波生放送や動画配信サービスの生中継を行うことなどにより、全国に向けたPRも強化することで開催を大いに盛り上げ、新規ファン獲得に向けた取り組みを進めることが出来ました。

また、誘致活動については、令和8年度から令和9年度にわたり、施設の改修を予定していることから、改修後のビッグレース開催に向けて、積極的に取り組みを継続しているところです。

- 今後も包括受託者をはじめとした関係機関と連携して安心・安全な開催運営に努めるとともに、新規ファンの獲得や、時代に即したファンニーズに対応した施策を推進し、さらに収益性を高める効率的、効果的な業務体制を確立することで「競輪事業」が地域の財産の一つとして将来にわたって継続するよう、職員一丸となって努力していきます。

区分	担当課	評価	評価の説明
1 函館競輪の魅力向上			
(1) 競輪事業および自転車競技への理解の促進と新たな選手発掘			
<ul style="list-style-type: none"> 競輪事業について市民の理解を促進するため、広報活動を充実するとともに、関係団体が主催する競技大会への支援などにより自転車の魅力を市民に伝えるとともに、職業としての競輪選手の浸透を図るため、イベントを利用した周知活動や、関係団体等と連携し学生を対象に職業説明会を行うなど新たな選手発掘に努めます。 	事業課	B	<ul style="list-style-type: none"> 北海道自転車競技会選手権大会やトラック記録会などの開催を通じて、地域における自転車競技の普及・振興に努めた。 開催地となった北日本地区プロ自転車競技大会において、放課後児童クラブの社会見学や選手宿舍メニューの試食会、競技終了後のバンクウォーク等、多彩な市民交流事業を展開し、競輪事業に対する市民の理解促進と魅力発信に努めた。 道内の高校生アスリートやトレーニング施設利用者を対象に、職業としての競輪選手も選択肢となるよう、選手会や日本競輪選手養成所、プロアスリートと連携してトレーニング方法の講習等を行い、その模様をCATVで放映するなど競輪選手のPRに努めた。
(2) ファンサービスの充実と新たなファンの開拓			
<ul style="list-style-type: none"> 包括受託者と連携し、地元をはじめとした競輪ファンのニーズに合致した施策を積極的に展開するとともに、予想会や選手OBを活用したガイドスコーナーの充実等により、若年者や初心者をはじめとした新たなファンの開拓に努め競輪事業の活性化を図ります。 	事業課	B	<ul style="list-style-type: none"> 初心者でも気軽に参加できる「優勝者当て」や「優勝者地区当て」クイズを実施し、老若男女問わずに競輪へ興味を持たれるようSNSでのPRに努めた。 来場者向けの函館競輪AI予想サービスにより、初心者でも気軽に車券購入するためのヒントを得られる環境を提供した。 選手OBによる初心者向けガイドスコーナー等で、初心者が気軽に立ち寄り競輪のことを質問できる環境を提供した。 市営函館競輪開催日だけでなく、特別競輪の場外開催時などにおいても、選手OBや実況アナウンサーによるレース展望を開催することにより、ファンとの一体感を高めることができた。令和6年度(2024年度)に引き続きガールズ競輪のレース展望を元ガールズ選手を起用し行った。 G1オールスター競輪において、函館けいりん宣伝大使を起用した初心者ブースの開設と円滑な車券購入体制の整備を行い、1万人を超える来場者に体験いただくことで、新規ファンの開拓を推進した。

<ul style="list-style-type: none"> 近年、既存のファン層だけでなく、若年者や女性を中心とした新たな層からも注目されている「ガールズケイリン」の開催数を、今後もより多く開催できるよう関係機関に働きかけるとともに、未来のガールズケイリン選手の発掘、育成サポートを行う「ホワイトガールズケイリン育成プロジェクト」を継続して実施し、自転車競技の普及・発展を目指します。 	事業課	B	<ul style="list-style-type: none"> ガールズ競輪開催数の確保に向け関係機関に働きかけ、函館競輪では12年目となる「ガールズケイリン」を引き続き開催するとともに、トップクラスのガールズ選手や、地元ガールズ選手によるトークショーやゲーム大会の開催等も積極的に実施し、今まで競輪場に足を運ばなかった層がガールズケイリンの観戦を契機として来場する機会を捉え、競輪の魅力を効果的にPRし、認知度向上に努めた。 北海道所属の未来のガールズケイリン選手を発掘、育成サポートする「ホワイトガールズケイリン育成プロジェクト(WGP)」を実施し、令和7年度は、1名が競輪選手資格検定に合格した。 また、日頃の練習状況や日本競輪選手養成所入所試験結果の速報等をSNSでリアルタイムに広く情報発信することで、自転車競技や競輪選手という職業の魅力に関する興味・関心を醸成した。
<ul style="list-style-type: none"> 函館競輪場やレース開催情報・イベント等を知っていただくためのツールとしてWebやSNS媒体をこれまで以上に活用し、多くのお客様に函館競輪場の魅力を伝えることで来場者の増加や新規ファンの獲得に努めます。 	事業課	B	<ul style="list-style-type: none"> 函館けいりんHPやSNSにより、開催情報・イベント情報・レース情報提供を行うことで、市営函館競輪の魅力の発信に努めた。 G1オールスター競輪の開催に合わせ誰でも気軽に楽しめる函館競輪発のWebゲーム「GEKIOSHI7」に、宇都宮開催の女子オールスター競輪との相互連携機能を新たに追加した「GEKIOSHI7+」をリリースし、全国から多数の参加者を獲得することで新規ファンの開拓を推進した。
<ul style="list-style-type: none"> 電話投票会員や臨時場外向けのファンサービスの拡大を図るとともに、場外車券売場と連携したイベントを行い、地域のファン獲得に努めます。 	事業課	B	<ul style="list-style-type: none"> 電話投票や民間ポータルサイトでの購入者向けにミッドナイト競輪プレゼント企画などのキャンペーンを実施し、増加している電話・インターネット投票売上の向上に努めた。 他競輪場やサテライト等への発売協力依頼を継続して行ったことにより、例年以上の臨時場外車券売場を設置することができた。 サテライト石狩で開催した21周年祭へブース出展し、地域へのファンサービスを行った。 G1オールスター競輪では、臨時場外車券売場と連携し、複数回来場したファンへのプレゼントキャンペーンを行うなど来場促進に努めた。

2 競輪事業の安定的な経営基盤の確立

(1) 競輪場施設の計画的・安定的な維持管理

<ul style="list-style-type: none"> 競輪場施設は、全面改修から既に20年以上が経過しており、今後の大規模改修等に要する財源確保が課題となっていることから、施設の計画的・安定的な維持管理を目的とした「競輪事業施設整備基金」への積み立てを行うとともに、しっかりとした財政収支試算を行い、将来の大規模改修等に備えます。 	事業課	A	<ul style="list-style-type: none"> G1オールスター競輪の開催やインターネットによる売上が引き続き好調であること、PRおよびキャンペーンに注力したことで車券売上が当初予算を約76億円上回ったことなどから、当初予算を大幅に上回る7億円を基金に積み立てることができた。
--	-----	---	--

(2) 市財政への貢献

<ul style="list-style-type: none">・今後の収支改善により見込まれる収益については、施設改修費への充当や基金への積み立てのほか「市財政への貢献」という競輪事業の使命を達成するため、一般会計への繰り出しを継続して実施します。	事業課	A	<ul style="list-style-type: none">・G1オールスター競輪の開催やインターネットによる売上が引き続き好調であること、PRおよびキャンペーンに注力したことで車券売上が当初予算を約76億円上回ったことなどから、当初予算を大幅に上回る6.3億円を一般会計に繰出すことができた。
---	-----	---	---

(3) 関係機関との連携による各種制度の改善

<ul style="list-style-type: none">・開催中の事故防止などをはじめとした安全に競輪開催を行うための取り組みを、全国競輪関係団体等と連携して実施します。	事業課	B	<ul style="list-style-type: none">・競技審判や選手会等と連携し、訓練等により事故防止に努め全ての開催を無事に実施することができた。
<ul style="list-style-type: none">・全輪協と施行者の協議のうえ、開催枠組みの見直しや他の競輪場での開催とのタイムスケジュールの調整など、様々な見直しを進めておりますが、これらの効果を検証しつつ、今後とも関係機関と連携し、各種制度の改善活動を実施します。	事業課	B	<ul style="list-style-type: none">・全輪協や北日本地区を中心とした施行者と連携を密にし、情報収集や意見交換を行った。